

広島赤十字・原爆病院 がん地域連携パス指針【乳がん手術後 地域連携パス】

当院では、がん地域連携パスを次のように運用させていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

1.対象患者

乳がん
上記疾患で、乳がん手術後

2.パス導入時の連絡

がん地域連携パスの適応があり、患者の同意が得られれば、主治医またはパス担当者より貴院へ電話にて連携の依頼をさせていただきます。

3.当院(がん診療連携拠点病院)での診察

- ①術後疼痛の確認
- ②タモキシフェン(TAM)療法の場合、更年期症状、帯下の変化の確認
- ③アロマターゼ阻害剤(AI剤)の場合、更年期症状、関節痛、こわばりの確認
- ④視触診
- ⑤血液検査(末梢血一般、生化学)の施行
- ⑥腫瘍マーカー(CEA、CA15-5)の施行
- ⑦画像検査(マンモグラフィ、乳房エコー)の施行
- ⑧投薬(ホルモン剤処方、内服状況確認、併用薬チェック)確認

4.かかりつけ医の先生にお願いする診療

- ①術後疼痛の確認
- ②タモキシフェン(TAM)療法の場合、更年期症状、帯下の変化の確認
- ③アロマターゼ阻害剤(AI剤)の場合、更年期症状、関節痛、こわばりの確認
- ④視触診
- ⑤血液検査(末梢血一般、生化学)の施行
- ⑥腫瘍マーカー(CEA、CA15-5)の施行
- ⑦患者の症状等により、画像検査(マンモグラフィ、乳房エコー)の施行
- ⑧投薬(ホルモン剤処方、内服状況確認、併用薬チェック)確認

※診療情報を当院に文書(診療情報提供書)で提供いただいた場合は、月1回を限度として『がん治療連携指導料300点』を算定することができます。

5.パスの期間

治療後10年間

6.バリエーション

- ①乳がんの再発や転移の疑いがある
- ②他疾患による病状悪化
- ③患者の事情による定期受診困難
- ④死亡

2021年4月作成

広島赤十字・原爆病院
がん相談支援センター
TEL 082-241-3111(内線 3214)